

令和5年度 学校経営構想

尾道市立因島南中学校

1 因島南中学校について

- ・平成22年度 開校（土生中学校・三庄中学校・田熊中学校の3校が統合）開校14年目
- ・平成27年度 因島南小学校が開校（土生小学校・三庄小学校・田熊小学校の3校が統合）

2 尾道市について

- ・平成29年度から、新たな「尾道教育総合推進計画」（5年間；H29～H33）実施
- ・「尾道教育総合推進計画」の学校教育関係；「尾道教育みらいプラン2」
- ・「尾道教育みらいプラン3」
『夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く子供の育成』
（「よりグローバルに」、 「より深化を」、 「より社会に開く」）
- ・尾道教育総合推進計画（令和4年～8年）

3 尾道市教育委員会からの『スクールミッション』（尾道市教育委員会として期待すること）

- 「オール因島南」で取り組む
地域に誇れる学校づくりの実現

4 因島南中学校が目指すところ

【ミッション】（地域・社会における自校の使命・存在意義）

- 「地域に誇れる学校づくり」

～ 地域からの期待に応え、期待を超える学校づくりを ～

<コンセプト；地域の活力を、学校から発信（学校が地域を元気にする）>

【ビジョン】（ミッションの追究を通して実現しようとする学校の将来像・目指す姿）

- オール因島南（学校・家庭・地域）で、連携・協働し、生徒を育む学校
- 学校・地域（ふるさと）を誇り、自分の生き方を見つめ直すことに繋げる学校
- 社会の変化に対応し、向上心を持ち、思いを実行に移せる学校

< 学校の特徴のキーワード >

- 『ふるさと学』（ふるさとを見つめ、考え、自分の生き方を見つめ直す）
- 『プラス・ワン』（今の自分をしっかり見つめ、常に、一步上、半歩上を目指す）
- 『地域に誇れる学校』（オール因島南で育て、学校も地域も元気にする）

【スクール モットー 「校訓」】

- 心を磨き、体を鍛え、世界をめざす

（校歌の歌詞に込められた「めざす姿」）

< 【ビジョン・校訓】として位置付け >

【生徒に育成したい資質・能力】

- 「基礎・基本」の力（実際の社会や生活で生きて働く力）
- 思考力・表現力・対応力（未知状況や新しい状況において）
- 高い志とチャレンジ精神（学びを生かす力）

5 学校教育目標について

社会で通用する基礎・基本を磨き、
よりより自分・学校・社会を目指す生徒の育成

○目指すものは、教育基本法の「教育の目的」である「**人格の完成**」

（「生きる力」を 今の学校生活だけでなく、将来を見据えて子供達の未来に責任を持つ）

○「**社会で通用する基礎・基本を磨き**」

- ・義務教育の最終段階として、社会で通用する「基礎・基本」をしっかりと身につけさせ、新たなステージに立たせる責任がある
- ・社会で通用する「基礎・基本」とは
「学力」のみならず、「社会性」、「コミュニケーション力」、「人を思いやる心」、「道徳性」、「規範意識」、「礼儀・マナー」、「向上心」、「健康」「体力・運動能力」など、「学習面」「生活面」において、「生きてはたらく確かな力」の「基礎・基本」
⇒ 学校のみならず、家庭・地域と協働して、確実に身につけさせる。
プラス・ワン感覚を持ち、上をめざす。

<育成したい資質・能力> 「基礎・基本」の力

「思考力・表現力・対応力」

（深く考える・しっかり表現する・未知の状況や新しい状況において力を発揮する）

○「**よりよい自分・学校・社会を目指そうとする**」

- ・自分自身を見つめる 学校を見つめる 社会を見つめる
- ・自分にできることは何か 自分のすべきことは何か そのために自分は… を考える
- ・よりより自分をめざす よりより学校をめざす よりより社会をめざす
（⇒「プラス・ワン」を、どう「意識」させ、どう「実行」させるか）
- ・新たな状況や変化に対応する力⇒ 変化の中で変える姿・変わらず持ち続ける姿

◆「**よりよい自分**」

- ・「まあ、これぐらいでよし」ではなく、更によりよい自分を目指し、向上心を持って努力することを目指す。（主に「プラス・ワン」をしっかりと自覚し、実行する生徒に）

◆「**よりよい学校**」

- ・自分だけでなく、友達を大切にし、まわりを大切にしながら、話し合い、高め合い、自分達の学校を、まわりのみんなと力を合わせ、よりよい学校にすることを目指す。（愛校心、誇りづくり）

◆「**よりよい社会**」

- ・「ふるさと学」を中核に据えながら、自分達のふるさと因島を、よりよいものにしようと考え、提案していく（総合的な学習の時間「ふるさと学」等の充実）。
- ・ふるさと因島のみならず、広く社会に対しても目を向け、自分達でよりよい社会を築き上げようと、社会に貢献し、よりよい社会をみんなで力をあわせて作り出そうとする。

<育成したい資質・能力> 「高い志とチャレンジ精神」

「思考力・表現力・対応力」

（深く考える・しっかり表現する・未知の状況や新しい状況において力を発揮する）

【スクール・スローガン】

自ら起点となり、本気・誠実・心根 温かくあれ そして 本物たれ
～Be ambitious～

⇒「めざす生徒像」「めざす教職員像」へ

6 今年度、特に意識していくことについて

(1) 「自分も起点」という位置に立ち、協働して取り組む！

○傍観者（批評家）にならない！課題を解決することに追われる組織の一員にならない。課題をシステムとして捉え自分もその問題に加担している（一部を担っている）という位置に立ち、自分のあり方（Being）からその問題自体に変化を与える。

(2) 生徒にとって学校生活の中心は授業！

○授業が最大の生徒指導の場という認識を持ち、授業に生徒指導の三機能を（自己存在感・自己決定・共感的人間関係）生かす。

○そのために、授業改善・授業研究を進める。（授業のうまい教員に！）

※詳細は別途

(3) 取組・課題には、「なぜ？」と「ゴールイメージ」を持って！

○取組を行うことで、どんな力をつけたいのか？どのような姿を目指しているのかを明確にして取り組む。（その熱量が生徒に伝わる。）

（ただの前年度踏襲は×）

(4) 教職員自身の向上心と指導力の向上・協働と気遣い

○向上心を持ち、新しい事に挑戦し、指導力の向上を目指す
（タブレットと板書の有効活用・ミッションの質の向上）

○役割分担の明確化と他職員への気遣い

【継続すること】

(1) 行事・生徒会活動を充実させるべく指導に臨む！

○「生徒会活動」が停滞・衰退すれば、「学校が沈む」という強い危機感を持って、生徒会活動に力を入れ、生徒達を指導し、育て、生徒の自治の力による活力ある学校を目指す！

(2) 生徒指導は「総力戦」という意識を持って全員で臨む！

○「マンパワー」ではなく、「チーム力」「総力戦」の意識を持つ。
「あれはあの学年のこと」にではなく、いかに自分の学校のこととして捉え、自分事として動くかが重要となる。
それぞれの「持ち味」を活かし、全員で関わりきる！

【指導方針】

「鍛え」 「伸ばし」 そして 「心に寄り添う」 指導を！

- 「指導」のないところに、生徒の成長はない！
生徒は、「指導」を待っている！
「粘り強く」；100回ダメなら101回やり返す！
「生徒は必ず成長する」と「信じる」！
- 生徒に、「本気」で「向き合う」！
生徒に、「本気」で「愛情」を傾ける（「甘やかす」ことでは決してない）
生徒の「思い」に、「心」に、「寄り添う」（「粘り強く」）
生徒のこれからの「人生の幸せ」を真剣に考える

繰り返さないための指導！

- 原因を探る。今後の姿を明確にする。
- 事後指導のマニュアルづくり。（生徒指導部）
- あきらめない

学力を伸ばし、仲間を大切に作る学校を創るために！

（学級開き・授業開きでまず勝負！そして継続）

- 2つの宣言 「学校は、学力を伸ばす場」です。
「学校は、仲間を大切に、正しい関わりを学ぶ場」です。
2つの事は因島南中全教職員の共通、これに反する言動を許さない。

【確認事項・検討事項】

- 入退校時間 入校時間 7：30（厳守） 退校時間（〇〇時）
- 土日の入校⇒ 管理職に許可を得る
- 組織の報告ラインの確認 ⇒ **事後の報告！**
- 文書管理（不祥事防止）
- **教育相談室のゴールイメージ（不登校生の対応）**
- タブレット⇒ 電子黒板の活用・板書との併用
- タブレット使用授業⇒ 週1回以上
- SDGsの取組
- 役割分担を明確にした上で、周りへの配慮を
- **昼食指導は、全員で！**